

地域と共により子どもを育てる学校

新宿区地域協働学校

# 運営協議会だより

No.8 平成28年11月

新宿区立戸山小学校 校長 山崎 涼二  
地域協働学校運営協議会 代表 大浦 正夫

## 第7回 地域協働学校運営協議会が開かれました。その内容をご報告します。

日時 10月15日(土) 11:30~12:30

場所 戸山小学校 会議室

(代表挨拶 早川副代表)

本日の芸術鑑賞会、とても素敵でした。子どもたちの嬉しそうな笑顔を見ることができ、私たちも参加型と一緒に拝見させていただき、とても楽しい時間が過ごせました。このような時間は子どもがいなくなかなか関わることができないことだと思います。芸術にふれるということは、子どもたちにとってもいろんな意味でいい時間になったと思います。企画をしていただきありがとうございました。今日もよろしくお願いたします。

(学校の状況について 校長より)

- 職員会議の資料を配布しています。9月はけがが多くありました。特に気を付けているのは目のけがですが、掃除の時間に、雑巾が目当たるけががあり病院へ行きました。雑巾は雑菌があり、非常に危険を伴うことなの必ず病院へ行きます。子どもたちに、雑巾は振り回すものではない理由などを理解させる必要があると思っています。子どもたちの衝突などもあり十分気を付けていきたいと思っています
- 体調が朝から芳しくない児童がいます。就寝が遅い、遅刻、朝食の問題があるかと思っています。朝食ですが、菓子パン一つ、ごはんと鮭のみ等の話を聞きます。そこにスープ、お味噌汁をつけてほしいです。子どもたちの成長にはビタミン、栄養のバランスが必要です。子どもが生活していく中で、朝ごはんは食べても内容に問題がある場合があります。今後は子ども自身でもできる食事のとり方、体力だけの問題ではなく健康を考える食事・生活習慣を大きな課題としていきたいと思っています。
- 1,2年生の遠足があり、とても立派だったのが電車でのマナーです。往復の電車、帰りの疲れている中でも座ることなく静かに乗っていました。とても嬉しかったです。これは、体力にも関係しているかもしれません。低学年の体力調査の評価が高く表れています。我慢ができるのも体力の有無があるのではないかと思います。小学生の子どもと親が電車に乗ってくると、子どもを座らせる姿を見ます。体調が悪いなどがなければ、子どもは体力をつけるために立つことが必要です。子どもたちは、1年生2年生でも立って電車に乗ることはできるのです。できるのだからやる、おしゃべりをしないなど学校や家庭で教えていかなければいけないと思います。
- 土曜日授業に、連絡もなく休んでいる児童が多数います。先生方は、電話連絡をして安全の確認をしています。子どもたちが自分できちんと生活ができるようにしていきたいと思っています。
- 学校アンケートの集計結果を配布し説明をしました。回収率は、89.1%、去年の89.9%と比べると低くなっていますが、これだけ回収できたのはありがたいと思っています。次回には委員の皆さまにコメントをいただきたいと思っています。

(支援部の進捗状況について)

- あいさつ運動支援部

### 《第13回 あいさつ運動》

日時：12月21日(水) 児童の登校時(おおむね 7:50~8:25)

場所：子どもたちが割合多く登校する箇所、交差点など

※保護者の方々のご参加もお待ちしています。PTA名札をお付けいただき、通学、通行する子どもたち・方々に「おはようございます」などのあいさつ、声掛けをお願いいたします。

- 学習支援部
- ◇太鼓支援

・10/10百人町祭りのパレードに小学生が7名、西早稲田中学の生徒が3名参加しました。人数も多かったので叩き足りない感じがあったようです。今後は運動会まで活動がありません。100周年の行事の

ことも含め、これからの活動を考えています。

- ・地域独自の太鼓の練習、活動はありますか。→現在はありません。⇒子どもの活動が継続していけるシステムがこの地域にできればと思います。防音の施設、将来的に小学校の音楽室などが使用できればいいのではないかと思います。今の子どもたちが中学・高校・大学生と成長し、子どもたちに教えていける環境が欲しいです。その拠点・発信が学校であることは間違いではなく、むしろそれが地域の学校だと思っています。

◇放課後算数教室(株式会社 四谷大塚)

- ・2名の先生に指導をしてもらっていますが、参加児童の人数が多いので、先生の人数を増やしていただけないか話をしています。体制を変えたことで子どもたちの評判もよく一生懸命学んでいます。

(情報・ご意見)

- ・芸術鑑賞会で、プロの方を招いて本物を子どもたちが観ることができ、楽器に触れ踊りや歌を楽しんでいる姿、とてもよかったです。我々も同様に楽しませていただきました。低学年の子どもたちの中には、興奮して立ち上がるなどもありましたが、校長先生、副校長先生のご挨拶になると、きちんと興奮している気持ちを抑えてしっかり聞いて鑑賞態度もとても良かったです。
- ・5年生の「わたしたちの町 百人町・大久保」の学習で大久保つつじ、鉄砲組百人隊について話をしました。自分自身どんな質問にでも答えられるよう準備をする中でとても勉強になりました。10/16新宿ふれあいフェスタのイベントに鉄砲組百人隊が出演します(新倉さん)。
- ・10月10日の大久保まつりのパレードに大久保未来組も出演しました。戸山小学校の児童も2名元気に出ました。練習も休まず参加しています。11月の行事、来年1月のパレードに向けて練習をしています。
- ・地域センターで、子どもが自分で作って食べられる料理教室の企画を来年度目途に考えています。
- ・大阪で地域食堂(地域の方が子どもたちに食事を作って食べさせる)の活動をされている方から、子どもをお腹いっぱいにすると思いを考えなくなる、不良行為をする子どもたちが来て、お腹いっぱいになったらけんかや万引きなどする気がなくなったと話す子どもの話を聞きました。食べることは健康だけでなく、精神的にも影響する大切なことです。西早稲田中学校の道徳講座でパラリンピックでも活躍されている車椅子プロレーサー廣道 純さんをお呼びして「どうせ生きるなら前向きに」というお話を聞きました。高校生の時、不良行為からバイクに乗り事故を起こし、脊髄損傷により突然の車椅子生活になってしまったとのことでした。そうなった自分を受け止める力とパラリンピックに向けて前向き生きる力についてのお話でした。中学生の多感な時期の子どもたちに向けて、高校生当時の周りの状況、親への心配がどのようであったかなども聞きたかったです、プロの方の話を子どもたちが聞いて良かったと思います。
- ・新宿西戸山中学校の地域協働学校で、共働きで子どもたちに手を掛けられない、朝ごはんを満足に食べてこない、携帯・スマホを自由に持たせても親が管理していないなどの問題は、学校が子どもに指導するだけではだめだと、保護者の意識を、学校・地域協働学校が取り組みをして変えていかなければいけないだろうという話を伺い大きな課題だと思いました。

<本当の教育とは何か>

- ・来年度より、英語の時間数を確保するために、本日のような芸術鑑賞教室、戸山フェスティバルはやめなければならないと思います。文部科学省に聞きたいです。「子どもの育ち」というものは、学習だけではありません。遊びの部分をどんどん削って何かを得る、そのような中で子どもが育ち、将来の日本は良くなるのだろうか。学校としては、与えられた時数をやっていかなければならない。そのためにそこを削らなければならないということはとても残念です。ノーベル生理学・医学賞受賞の大隅良典さんのお話で、「このままでは日本のサイエンスはダメになる。昔は自由な研究をするところに費用が出されていたことが、今は許されない。成果をあげることだけに留められている。」との報道がありました。日本の教育もそのようになっていくと危惧しています。今、日本の将来を担っていく子どもたちにそういうものを削っていかなければいけない時代なのか。ぜひ本当の教育とは何か、という話し合いが成され新宿から発信できたらよいと思います。

(次回以降の委員会日)

- ・12月 9日(金)15:30～

出席者(順不同・敬称略)

早川美奈子(副代表) 元PTA会長

白井和美 主任児童委員

乗松好美

スクールコーディネーター

新倉康夫

柴田澄雄

山崎涼二

(学校) 福井

百人町中央町会副会長

海城中学高等学校長

校長

みどり副校長